

南海トラフ広域地震 防災研究プロジェクト シンポジウム

昭和東南海地震から70年 —次の地震への備えは—

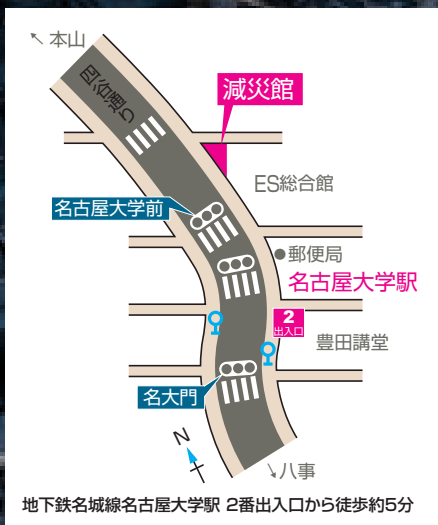
参加定員
250名

開催日時

2014年12月7日(日) 12時開場

開催場所

名古屋大学 減災館



Program プログラム

- 13:00 挨拶 文部科学省研究開発局地震・防災研究課長 **森澤 敏哉**
- 13:05 基調講演 南海トラフ巨大地震の被害軽減に向けて
 - 1) 南海トラフ広域地震防災研究プロジェクトの現状と展望
名古屋大学減災連携研究センター特任教授/海洋研究開発機構招聘上席技術研究員 **金田 義行**
 - 2) 地震・津波発生予測研究の現状と課題
東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター教授 **古村 孝志**
 - 3) 地域対応力向上への取り組み
名古屋大学減災連携研究センター長・教授 **福和 伸夫**
 - 4) 減災に向けた人文社会学系研究のあり方
東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター長・教授 **田中 淳**
- 15:05 休憩 (15分)
- 15:20 パネルディスカッション —南海トラフ巨大地震の地震像とその備え—
進行: 京都大学防災研究所教授 **牧 紀男**
パネリスト: 国土交通省中部地方整備局総括防災調整官 **井口 泰行**、基調講演者 4名
- 16:50 総評および閉会挨拶
南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト運営委員長 (東京工業大学 名誉教授) **本蔵 義守**
- 17:00 終了

司会: 名古屋大学減災連携研究センター特任准教授 **阪本 真由美**

申込方法 ウェブサイトからの事前申込制

<http://main-container.jp/nankai-trough/>

(事前申込が定員に満たない場合は当日参加も可能です)

なお、申込みサイトは主催団体のホームページとは異なります。
いただいた個人情報は、本シンポジウムの運営のためにのみ
使用いたします。